

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭 科目： 家庭総合 単位数： 1 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組
 教科担当者： （1組：日下） （2組：高相） （3組：日下） （4組：日下） （5組：日下） （6組：高相）
 使用教科書： （東京書籍「家庭総合 自立・共生・創造」）

教科 家庭 の目標：
 【知識及び技能】生活を主体的に営むために必要な科学的理解を得て、それらに係る技能を身につけようとする。
 【思考力、判断力、表現力等】生活の中から課題を見出し、解決策を考え、考察したことを表現するなど解決する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を目指す実践的な態度を養う。

科目 家庭総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 生涯を見通す 自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。	生涯発達 青年期の課題 5つの自立 ＜教材＞教科書・学習ノート・資料集	【知識・技能】・生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解している。 ・青年期の課題である自立について理解を深めている。 ・意思決定の重要性について理解を深めている。 【思考・判断・表現】人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしている。	○	○	○	2
	第2章 人生をつくる ・生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。 ・社会制度としての家族や家族と法律を理解する。 仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて理解する。	時代別に見た人の一生 一人で・パートナーと暮らす 多様なライフスタイル 家族・家庭・世帯 家族と法律 これからの家庭生活と社会 ＜教材＞教科書・学習ノート・資料集	【知識・技能】・家族・家庭の機能と家族関係について理解している。 ・家族・家庭と法律について理解している。 ・家族・家庭の意義について理解を深めている。 【思考・判断・表現】・家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し、青年期の自立と家族・家庭及び社会について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4
	第7章 衣生活をつくる 被服製作の基本的確認	基礎縫い練習 ＜教材＞教科書・資料集・練習布・裁縫道具など	【知識・技能】衣生活の自立に必要な技能を身につけている 【思考・判断・表現】主体的に衣生活を営むことができるように自らの課題を表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】衣生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりしようとしている。	○	○	○	2
	定期考査 1学期の振り返り			○	○		2
2 学 期	第4章 超高齢社会を共に生きる ・加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。 ・高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。 ・高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考える。	老化と成熟 高齢期の心身の特徴 介護保険制度 高齢者の自立を支える ＜教材＞教科書・学習ノート・資料集	【知識・技能】・高齢期の心身の特徴について理解を深めている。 ・高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深めている。 【思考・判断・表現】・高齢者の自立生活を支えるために、高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方について考察したことを論理的に表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】高齢者との関わりと福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4
	第5章 共に生き、共に支える ・共に支え合う社会の実現に向けて、国・地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。	社会保障 税金や社会保険料 共生社会 ＜教材＞教科書・学習ノート・資料集	【知識・技能】家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 【思考・判断・表現】 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもち、様々な人々との関わり方について、考察したことを論理的に表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	1

